

東白杵南部地域の普及活動（普及活動月報）

令和7年4月 東白杵農林振興局
(東白杵南部農業改良普及センター)

目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P 2)
 - 1 【日向市・椎葉村】農業経営指導士に感謝状を贈呈
 - 2 【日向市】百町原地区営農組合通常総会が開催
 - 3 【全域】日向地域営農推進連絡会議が発足
 - 4 【全域】県畜産共進会出品候補牛の引付調査の実施

- II 主な普及指導活動等の取組
 - 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動 (P 3～4)
 - [総合：担い手確保・育成、雇用労力の確保、中山間地域づくり 等]
 - [専門：茶(中山間)、肉用牛繁殖(若手)、冬春ミニトマト、ほうれんそう(椎葉)、へべす、スイートピー 等]
 - 1 【美郷町】研修受入に向けた検討会の実施
 - 2 【門川町】特定技能外国人材の短期雇用検討会を開催
 - 3 【美郷町】美郷町さいごう完熟金柑部会員への全戸巡回の実施
 - 4 【美郷町】冬春ミニトマト定例会で作終了時のコナジラミ対策を指導
 - 5 【全域】スイートピーの採種管理について指導
 - 6 【椎葉村】ほうれんそう作付検討会が開催

 - 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動(一般活動) (P 5～7)
 - 1 【美郷町】茶肥料展示ほの設置
 - 2 【日向市】水稻の奨励品種決定調査現地試験ほの設置
 - 3 【日向市・門川町】JAみやざき日向地区本部マンゴー部会総会が開催
 - 4 【門川町】門川町蔬菜園芸振興会総会が開催
 - 5 【日向市・門川町】促成きゅうりにおける高温期の対策と湿度管理を検討
 - 6 【日向市・門川町】促成きゅうりの環境データ分析による高温期の対策指導
 - 7 【全域】シキミ立枯症対策を提案
 - 8 【日向市・美郷町・諸塚村】ほおずき・りんどうの全戸巡回を実施
 - 9 【日向市・諸塚村・美郷町】ほおずき産地戦略ビジョンの提案
 - 10 【椎葉村】ほうれんそう及びミニトマトの巡回を実施



東白杵南部農業改良普及センター
ホームページ

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 【日向市・椎葉村】農業経営指導士に感謝状を贈呈

農業経営指導士を退任される、農事組合法人ひまわりの黒木公作氏(日向市 3期9年)と、清田泉氏(椎葉村 4期12年)へ、それぞれ7日、28日に任期終了に伴う感謝状の贈呈を行いました。

任期中は地域農業の発展、担い手育成支援だけでなく、両氏ともに支部役員としてご尽力いただきました。

今後とも、普及活動へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【感謝状贈呈】

2 【日向市】百町原地区営農組合通常総会が開催

24日に、百町原地区営農組合通常総会が開催されました。組合では今年度から、ドローンによる防除受託作業も開始予定です。

総会では、様々な費用が高騰する中で、利用料の値上げについても意見が上がるなど、活発な意見交換がなされました。

NOSAIからは、安全講習会の開催周知、普及センターからは、農作業事故防止に向けた意識啓発と、農業セーフティネットのワンストップ窓口がわかるマニュアルと農業経営サポート事業の紹介を行いました。

今後も、引き続き、地域の課題解決に向けた支援活動を実施していきます。



【百町原地区営農組合通常総会】

3 【全域】日向地域営農推進連絡会議が発足

22日に、普及センターで、関係者23名が出席し、地域農業の産地サポート体制の強化を目的とした「日向地域営農推進連絡会議」が発足しました。

この会議は、昨年度末で解散した日向地域農業再生協議会の各部会に代わり、担い手や労力確保などの地域共通課題について、関係者が一体となり話し合う場として新たに設置されたものです。

初回となる今回は、普及センターから、担い手確保・育成や労働力サポートの現状と課題について情報共有し、関係者と意見交換を行いました。

今後は本連絡会議を軸に担当者会を随時開催して、各市町村と連携して地域ごとの課題の解決に向けた協議や取組を行うことを確認しました。



【連絡会議での協議】

4 【全域】県畜産共進会出品候補牛の引付調査の実施

15日、延岡家畜市場で10月の県共進会の出品候補牛18頭の引付調査が行われ、管内からは17頭が出場しました。

体測や栄養度測定を行った後、技術員による審査が行われ、候補牛の美点、欠点を見ながら、候補牛としての資質を確認しました。

また、審査終了後に生産者と技術員で集まり、各候補牛の講評と課題の共有をしたことで、共進会出場に向けた飼養管理面での改善点を明らかにすることができました。

共進会の本番に向けて、今後も引き続き飼養管理面での支援を行っていきます。



【出品候補牛の引付調査】

II 主な普及指導活動等の取組

1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

[総合：担い手確保・育成、雇用労力の確保、中山間地域づくり 等]

[専門：茶(中山間)、肉用牛繁殖(若手)、冬春ミニトマト、ほうれんそう(稚葉)、へべす、スイトピー 等]

1 【美郷町】研修受入に向けた検討会の実施

16日、美郷町役場で、農業者2名と関係機関8名が出席し、就農希望者の研修受入に関する検討会が実施されました。

会では、研修の受入先となる部会の代表者らとともに、今回の就農希望者に対する研修方法等について協議し、対象者への提案内容の整理を行いました。

今後も引き続き、生産者及び関係者と連携しながら、次回の検討会までに必要な資料等の準備を進め、就農希望者が円滑に就農できる環境整備に向け支援していきます。



【研修生受入の検討会】

2 【門川町】特定技能外国人材の短期雇用検討会を開催

23日、門川町役場及び町内現地で、町や県の関係者8名で検討会が開催されました。

門川町では、6日から農繁期の労働力確保を目的とした「特定技能外国人材の短期雇用」が開始され、インドネシア人女性1名がトマトときゅうり現地で収穫作業等に従事しています。受入生産者の感想は、「翻訳アプリを活用しながらコミュニケーションを図り、作業の飲み込みも早く、他のパート職員との関係も良好。外国人材の雇用は、住居の経費など割高にはなるものの即時の短期雇用等のメリットがある」と好評です。

7月から外国人材が増加（7名／5生産者）する計画であることから、支援事業を活用しながら関係者で課題を整理し、受入予定の生産者との情報共有を予定しています。



【外国人材雇用検討会】

3 【美郷町】美郷町さいごう完熟金柑部会員への全戸巡回の実施

21日と24日に関係者5名が参加して、美郷町さいごう完熟金柑部会の全戸巡回を行い、生育状況や剪定作業の進捗の確認とともに、今後の管理について個別に説明を行いました。また、産地ビジョンの取組として進めているハウス台帳の整備・更新に向けて聞き取り・確認も実施しました。



【完熟きんかん全戸巡回】

4 【美郷町】冬春ミニトマト定例会で作終了時のコナジラミ対策を指導

15日、JA西郷支店において生産者8名、関係者6名が出席し、美郷町冬春ミニトマト定例会が開催されました。

普及センターからは、病害虫発生予察と作終了時におけるコナジラミ防除の重要性の説明を行い、適期防除指導を行うとともに、栽培終了時には蒸しこみによりコナジラミを次作に持ち越さないよう注意喚起を行いました。生産者からは、コナジラミの初発を見逃さずに防除に努めたい、増えてきているので週に1回の防除を行いたいという意見があり、防除意識が高まりました。

美郷町においては、4月下旬から5月上旬にかけて摘芯が始まり、6月末までの出荷を目指しています。



【冬春ミニトマト美郷支部定例会】

5 【全域】スイートピーの採種管理について指導

15日、普及センターで、生産者5名、関係者7名が出席し、スイートピー部会実績検討会が開催されました。普及センターからは採種時期の管理講習と、県産品点検事業の結果報告を行いました。実績は、年内の高温の影響により出荷開始が遅れたことや出荷量が少なかったことで、作を通して苦戦が続いたようでした（出荷数量は前年比84%、販売額は前年比91%）。

来作は年内の高温対策や品種特性に応じた草勢管理の指導を関係者と協力して行っていきます。



【スイートピー部会実績検討会】

6 【椎葉村】ほうれんそう作付検討会が開催

30日、JA椎葉支店において、生産者10名及び関係者6名が参加し、ほうれんそう作付検討会が開催されました。

JAからは、昨年の販売実績説明と今年の販売方針の提案がなされ、種苗会社からは品種の特徴や栽培のポイント等について説明が行われました。

駐在からは、防除暦の配付、発芽率向上に向けた高温対策講習を行うとともに、個人毎の作付記録の精密化を促しました。生産者それぞれが記入した作付計画をもとに、今後の巡回指導でその実践を支援していく予定です。

検討会全体をとおして、意見交換が活発に行われ、相互の意見や販売方針が共有できた有意義な会となりました。今後も、関係機関と連携しながら生産者相互の情報共有を促進し、生産量向上に向けた気運を盛り上げていきます。



【発芽率向上に向けた
高温対策を講習】

2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動（一般活動）

1 【美郷町】茶肥料展示ほの設置

2日、美郷町西郷にて茶園管理者と営農振興協議会の肥料試験の展示ほを設置を行いました。

この試験は、品質及び収量の向上を目的として、芽出し肥の新資材である「マルチ硫安」の効果を確認するもので継続試験3年目です。

過去の試験結果では、慣行で使用される「マグ硫安」と比較し同等以上の品質及び収量を得られていることから、代替が期待される肥料です。

今後、収量調査を行い、そのデータを基に来年度以降の暦に採用するかを関係機関団体で協議していきます。



【茶肥料試験展示ほ設置】

2 【日向市】水稲の奨励品種決定調査現地試験ほの設置

3日、日向市庄手にて生産者1名、JA担当者1名が参加し、水稲奨励品種決定調査現地試験ほの田植を行いました。

この試験は、宮崎県の奨励品種を決定するために、現地適応性を検証するもので、今年は加工用向けの新系統「宮崎57号」と対照品種として「宮崎52号」、「夏の笑み」を供試しました。

今後、生育・収量調査を行い、現地の適応性を判定するとともに、調査結果を関係機関団体へ共有していきます。



【水稲奨励品種決定調査
現地試験ほ設置】

3 【日向市・門川町】JAみやざき日向地区本部マンゴー部会総会が開催

18日、JA日向地区本部で生産者4名、関係者7名が出席し、JA日向地区本部マンゴー部会総会が開催されました。令和6年度の活動実績や令和7年度の活動計画、産地戦略ビジョン等議事の協議が行われました。農業者からは「産地戦略ビジョンについて、実情に合わせて一部改訂した方が良いのではないか」との意見が出されるなど、活発な協議が行われました。



【マンゴー部会総会】

4 【門川町】門川町蔬菜園芸振興会総会が開催

17日、JA門川支店で、生産者14名、関係者8名が出席し、門川町蔬菜園芸振興会総会が開催されました。当振興会は、町内のトマト類、きゅうり、スナップエンドウ、スイートピー等の施設園芸の農業者が参加する振興会です。

活動内容や収支について実績・計画の協議が行われ、今年度、振興会として「コスト削減」や「難防除害虫の対策」等の重点的に活動する内容について活発な意見交換がされました。



【門川町蔬菜園芸振興会総会】

5 【日向市・門川町】促成きゅうりにおける高温期の対策と湿度管理を検討

8日、日向市、門川町のきゅうり生産者11名、関係者4名が参加してきゅうり巡回及び現地検討会が開催されました。

現地検討会では、ハウスの谷が開放し始め湿度の保持が難しくなっている中で、特に午後の湿度が保つように谷開閉幅を調整することや、かん水量を日射量に合わせて増やしていくことを確認しました。普及センターからは、これまでの気象をまとめた資料と、4月の平年の日射量を示したグラフを提供し、かん水量や遮光の検討を促しました。

3月は真夏日を観測する日や寒さが戻るなど、寒暖差の激しい期間となりました。4月からは外気温が上昇し、害虫の発生も心配されます。引き続き、巡回を通して適期防除を指導し、最後まで高品質なきゅうりを出荷できるよう支援していきます。



【きゅうり現地検討会】

6 【日向市・門川町】促成きゅうりの環境データ分析による高温期の対策指導

16日、JA美々津支店において生産者6名、関係者5名が参加し、促成きゅうりにおける3月の施設内環境データ分析による栽培管理の振り返りを行いました。

環境データの分析では、夏日を記録した3月26日のハウス内温湿度の推移について、日照量の増加を確認し、5月以降の高温期にはできるだけ温度を外気と近づけたり、ハウス内湿度の維持を目的とした遮光遮熱剤の使用や摘葉管理について検討しました。



【きゅうり栽培管理検討会】

7 【全域】シキミ立枯症対策を提案

17日、JA西郷支店で、生産者10名、関係者7名が出席し、JAみやざき日向地区本部シキミ部会と美郷町シキミ部会の合同役員会が開催されました。春彼岸の出荷実績について、報告や育苗状況の意見交換が行われました。普及センターからはシキミ立枯症対策チェックシートを配布し、今後の栽培管理のセルフチェックとして活用してもらうよう説明を行いました。

夏場の高温により生育不良が起きているため、関係者と連携して対策を検討していきます。



【シキミ部会役員会】

8 【日向市・美郷町・諸塚村】ほおずき・りんどうの全戸巡回を実施

2日、7日、8日、10日に関係者2名でほおずき・りんどうの全戸巡回を実施しました。ほおずきについて、今作は14名の生産者が作付けを行い、7月出荷型の生育状況や8月出荷型の萌芽状況を確認しました。どちらの作型も概ね順調です。7月出荷型では下旬よりマルハナバチの導入が開始され、8月出荷型の萌芽揃いも良好です。りんどうについて、今作は5名の生産者が栽培を行っており、萌芽や伸張が確認され、生育は概ね順調です。

今作も関係者との巡回指導を通して、数量の確保と品質向上に向けて支援していきます。

9 【日向市・諸塚村・美郷町】ほおずき産地戦略ビジョンの提案

28日、JA西郷支店で、生産者6名、関係者5名が出席に、JAみやざき日向地区本部ほおずき部会・美郷町ほおずき部会の合同役員会が開催されました。

役員会では、実績や計画について検討が行われた後、普及センターから産地戦略ビジョンの実績報告と今年度の計画について説明を行いました。昨年度未実施であった販促・PR活動の具体的な時期や定年就農予定者の確保に向けた取組について積極的に意見が交わされました。

近年、生産者の減少が急速に進んでいますが、関係者と連携し、産地維持に向けて取り組んでいきます。

10 【椎葉村】ほうれんそう及びミニトマトの巡回を実施

22日、関係者4名で大河内方面のほうれんそうと夏秋ミニトマトのほ場巡回を行いました。

椎葉村では夏秋ミニトマトとほうれんそうの生産が盛んですが、村内のいくつかの園芸生産の拠点のうち、大河内方面ではほうれんそう7戸、ミニトマト1戸が、今年も作付けを始めています。ほうれんそうは、4～6月にかけて1作目の播種を段蒔きしますが、規模が大きい経営体では一部収穫中のハウスもあり、良好な生育でした。夏秋ミニトマトは4月中旬に定植し、順調に活着しています。どちらも昨年は高温に影響を受けたので、駐在からは巡回と合わせて高温対策の情報提供を実施しました。

なお、昨年度は、村・JA・駐在それぞれで大河内方面の巡回を実施していましたが、今年度は合同で巡回する機会を増やし現地検討を充実させ、ほうれんそうの生産・販売力強化を図っていきます。



【ほうれんそう巡回をスタート】